

Key word 【脳卒中片麻痺】 【自動車運転】 【自動車教習所】

教習所と連携を図り、路上教習を実施した事例

対象者	40歳代・男性	主診断名	脳出血	障害名	左片麻痺
-----	---------	------	-----	-----	------

教習所の協力を得られるまでの経緯



- 施設から利用可能な複数の教習所に電話。
- 運転免許センターへ診断書提出，適性検査を行い，運転再開手続き済み。
- 事前にトイレや構内の段差等を確認するため，事前に事業所職員と教習所を訪問。

教習所で訓練を受けた結果



- ペーパードライバー講習で受講。受講料は自費で負担。
- 事業所職員が後部座席に同行し，計3回教習を実施。
- 片手運転となるので，車通りの多いところは気を付けるようにとのコメントあり。

Point!!

- HPで掲載されている「障害者利用可」は，新規で免許を取得する方を対象としている場合が多いので，確認が必要。
- 障害者の受け入れによる教習所へのメリットを示しながら交渉する。（免許取得者減少の補填になる）
- 費用の負担について，事前に決めておく。教習所の利用料金，同行するセラピストの外出追加料金等。